



▲特選「夢中」高岡 信子



▲褒状「雨上がりの駐車場」田村 俊司



▲褒状「Fiance」<sup>フィアンセ</sup>宮地 幸



▲褒状「日向ぼっこ」山崎 静香



▲特選「蒼」横山 豊



▲褒状「本番前」明石 正



▲褒状「おつとめへ」安岡 友子

【写真審査会】  
（審査員 島本正人氏）

# 芸術祭 入賞作品

第13回香美市芸術祭と地区文化展が9月29日から11月18日にかけて開催され、文化展のほか、芸能大会や社交ダンス発表会、土佐山田町合唱団有澤一郎顕彰コンサートなどが行われました。

## 短歌会・俳句会

【短歌会】（選者 岡崎桜雲氏）

特選 亡き祖父の乗りしとぞ聞く引揚げ船  
その名を尋ね港町を歩む 古川 由容

特選 仔牛売りに嫁入りタンスを買ひくれし  
父の語らざりし百歳の生き 大岸由起子

褒状 健気なる真の勇気とも日大の  
アメフト選手素顔の会見 古川 安子

褒状 野げしの実風に吹かれて漂えり  
畑にはげみし嫁はみえず 佐々木真里

褒状 「紺碧の空を名残りに旅立たむ」  
久夫の歌を胸ふかく抱く 吉本 悦子

褒状 平成の年号変わる次世代に  
夢はあるのか未知数のまま 梅原 炯水

褒状 玉音を聴きたる日より七十三年  
あの日の空も真青だった 公文 正子

高ポイント 流れゆく霧に湿りし青葉の森に  
啼くほととぎす吾を呼ぶかに 山下由美子

【俳句会】（選者 山本吳斎氏）

特選 大炎暑一秒遅れの野良時計  
どつしりと蔵の重心今年米 山崎 鈴子

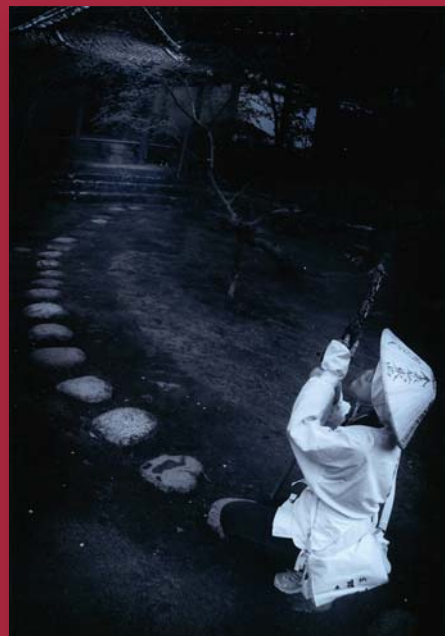
褒状 老人の靴泥だらけ糶運ぶ  
我が顔に虻這う不快許しをく 笹岡 英世

褒状 巖一つ越えて冷え冷え冷え瀧の径  
何となく重き八月遣り過す 津田吾燈人

褒状 鱗雲一枚ごとに日影する  
背負われて間一髪や広島忌 甲藤 卓雄

高ポイント 古川 信子

▶褒状「旅路」川谷 秀典



▶特選「青春」門田 典子

